

今を未来に

学校が再開されて2週間が経過しました。学校再開直後は、少し疲れた様子で学習に取り組む子どもたちでしたが、先週の後半からは元気よく、意欲的に学習や遊びに取り組む姿が見られ、いつもの保々小学校の姿になってきました。

学校では、3密と手洗い、消毒に気を配りながら、遅れていた学習を効果的に進めるために、各教科の年間指導計画を見直しながら、計画的に進めているところです。

新型コロナウイルス感染症拡大の第2波が心配されるころですが、3密、手洗い、消毒を確実にし、予防をしようと考えています。何か心配なことがあれば、学校へ相談していただき、この難局を家庭と連携しながら学校運営を進めてまいります。

2020（令和2）年度保々小学校学校づくり

ビジョンについて

昨年度、保護者の皆様にご協力いただいた学校評価の結果や、年度末に全教職員でおこなった学校総括の結果から、本校の児童は、学習活動や日常の学校生活の中で、自分自身を振り返り、見つめ直すことができても、十分に活かすことが苦手な姿がありました。そこで、この弱み（弱点）を強化するために、学校づくりビジョン（裏面参照）のめざすこどもの姿（教育目標）を『自分を見つめ、今を未来につなげられる子』として、学校経営を行っていくことにしました。

また、めざす学校の姿を『学ぶことがたのしい学校』とし、とてもうれしかったのしきや、心がうきうきするたのしきや、心を楽しませるたのしきなど、多種多様なたのしきを学校生活の中で体験させたい思いから、昨年度まで、『楽しい』と漢字表示していたものを本年度からは、『たのしい』とあえてひらがな表示にしました。

同様に、学校づくりの5つの重点目標の一つである、きき合い語り合う授業づくりについても、自分から積極的に耳を傾ける意味での聴く、相手の言うことを受け入れる意味での聞く、相手に何かを聞きただす意味での聞くもあるなど、これも多種多様なききかたがあることから、『聞く』という漢字表示から『きく』というひらがな表示にしました。

このように、学校づくりビジョンを一部修正することで、保々小学校5つの重点目標の取り組み（保護者版）についても、表現の書き換えや、○印と◎印が変わったりするなど修正箇所がありますのでご了承ください。

さらに本校では、『今を未来につなげられる子どもをめざして』と題して、保々地区18年間（社会へ）の育ちのプログラムを作成して、毎年、新1年生に入学説明会で配布しています。これは、保々こども園、保々小学校、保々中学校、高等学校（朝明高校、いなべ総合学園高校、桑名西高校、菰野高校、北星高校）、それに保々地区教育・就労に係る連携会議が、18年間の学校での学びや活動を通して、自主自立を促す目安となる力を発達段階に応じて示したものです。これを使って、各校園がビジョンをつくり、同じ方向（ベクトル）で日常の学校運営をおこなっています。このような取り組みを、子ども園から高等学校までが『18歳の子どもの像』を共有しながら進めているところは全国的にも珍しく、多くの学校のモデルにもなっています。

地域や学校の諸先輩方が作り上げ、子どもの成長において多くの成果を上げてきたこの取り組みを大切にしながら各校園、連携会議が今後も連携を深めながら、保々の教育をさらに充実させていきたいと思っています。